

リーダーになる!

実践する上司学。
嶋津良智による、よきリーダー、上司になるための必読コラム。



嶋津良智 著 リーダースアカデミー学長。早稲田大学講師。大学卒業後、IT系ベンチャー企業に入社、トップセールスマンとなり、24歳で最年少営業部長に就任。1993年に独立、起業。94年に共同で情報通信機器販売の新会社を果たす。2004年にIPOを果たす。05年に教育機関、「リーダースアカデミー」を設立。

第35回 約束は絶対に守る

約束を守る＝当たり前前のこと。ですが、その当たり前前のことを徹底して継続することが大事です。その継続が大きな信頼を生みます。

「上司となったからには約束を守るう」。そんなことを言う、「なんだ、当たり前前のことじゃないか」「そんなことなら、小学生でも知ってるよ」と感じる人も多いでしょう。確かに当たり前前のことです。

ですが、当たり前前のことを軽んじている人は、得てして当たり前前ことができずに信頼を失っているものです。よくあるのは、お酒を飲みながらや昼食をとりながら、一緒に歩きながら、

何気なく軽い気持ちでした約束を忘れるパターンです。わたしの信条は、「誰にでもできる当たり前前のことを、誰もができないくらい徹底して続けること」です。

第一に時間を守る 時間は大切な資産

さて、約束を守るといえば、その第一歩は時間を守ることです。

時間というのは、それだけの人にとって非常に大切

な資産です。その資産をうまく使えば、利回りが高まり、大きな利益を得ることが出来ます。反対に、資産を有効に使えなければ、利回りが低くなり、ときには損をしてしまいます。

もし、あなたが約束の時間に遅れてしまったとしたら、相手の大切な資産を無駄にしているということを手を銘じてください。会議をするとき、遅れた

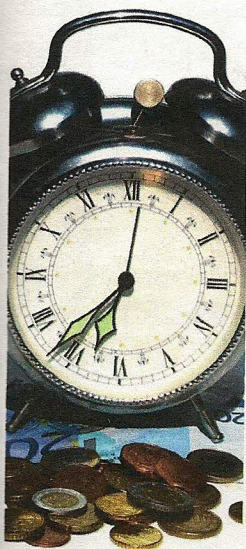
人を待つているなんてケ

スがたまに見受けられますが、これほどばかばかしいことはありません。たった一人のせい、そのほか多くの人が時間という大事な資産をどんどん投げ捨てているからです。わたしは、遅刻者がいても構わずに会議をスタートさせます。わたしを含め、時間を守っている人間の資産が無駄になるのを黙って見過ご

すわけにはいきません。

上司は部下に対してでも、甘えることなく、しっかりと時間や約束を守るべきです。その積み重ねが、信頼を生み、人間関係を円滑にしてくれるのです。信頼というのは、筋肉のようなもので、一日二日のがんばりですぐに得られるものではありません。長い間、地道に積み重ねた末に得られるものなのです。

当たり前前のことを軽視せず、誰もができないくらい徹底して、継続してみてください。結果として、きつと大きな信頼が得られるはずです。



載

『上司のルール』より転